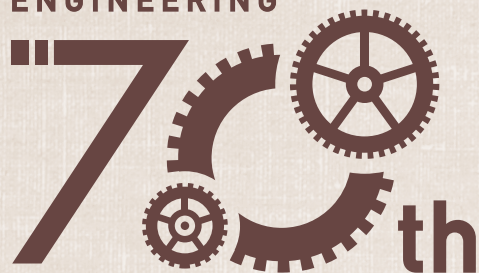


FACULTY OF
ENGINEERING



ANNIVERSARY

SHINSHU UNIVERSITY

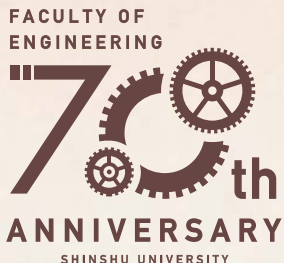
信州大学工学部

創立70周年記念事業

ご寄附のお願い



昭和20年頃の
長野工業専門学校



信州大学工学部 創立70周年記念事業 募金趣意書



信州大学工学部は、2019年に創立70周年を迎えます。工学部は、昭和24年（1949年）に設立された信州大学の発足にあたり、当時長野市にあった長野工業専門学校を母体とし、戦後の産業再生の中、長野県ものづくり産業への人材供給を目的として設立されました。設立当初は、機械工学科、電気工学科、通信工学科、土木工学科の4学科でしたが、社会の要請に応えるため、幾度となく学科再編が行われ、現在は、物質化学科、電子情報システム工学科、水環境・土木工学科、機械システム工学科、建築学科の5学科で教育研究及び地域貢献活動を行っています。また、大学院総合理工学研究科（修士課程）、大学院総合医理工学研究科（博士課程）が整備され、二千八百余名が学ぶキャンパスへと発展しました。

研究活動においては、工学部内の教員を主体に設置されている先鋭領域融合研究群の2研究所（カーボン科学研究所と環境・エネルギー材料科学研究所）と2研究センター（航空宇宙システム研究センターと食農産業イノベーション研究センター）が発足し、活発に研究を行ってきました。こちらも5年が経ち改組が行われ、平成31年度には3研究所と3特定研究拠点に代わり、新たにスタートしました。工学部の教員はこれらのうち、先鋭材料研究所と航空宇宙システム研究拠点を主に支えると共に、社会基盤研究所と山岳科学研究拠点にも参画しており、幅広い研究を展開しています。特に、世界の水を守る研究を展開しているアクア・イノベーション拠点は、平成25年度にセンター・オブ・イノベーション事業として国から採択を受け、研究開発を進めており、9年間のプロジェクト期間のうち7年目に入り、社会実装に向けた研究へと展開され、多くの成果が生まれつつあります。今後の人間社会を支える工学技術は、蓄電や省エネルギー関連の環境・エネルギー技術、人間の生活のQOLを支える食や健康に関連する技術、またSociety5.0社会の実現のための人工知能やロボットなど、工学が貢献できる分野は多岐にわたっています。国際科学イノベーションセンターの建物や最先端の機器類、それらにも増して工学部の人的資源を活用して、ますます社会貢献を果たしていきたいと心新たにしております。

信州大学工学部創立70周年記念事業は、設立当初の理念に立ち返り、信州大学工学部の新しい時代に向けた出発点と考えております。元号も新たに令和となり、社会の要請に応えられるよう時代を先取りした未来輝く工学部を目指して活動を活発化させていきたいと考えておりますので、地域の皆様、企業の皆様、同窓会の皆様など関係する皆様には工学部の活動にご理解をいただき、ご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。



2019年7月吉日
信州大学工学部長
天野 良彦

信州大学工学部の新たな発展に向けて

昭和24年の新制大学の発足から70年を迎え、記念行事が行われ、次のステップに向けて発展すべく一丸となって新しい大学の教育・研究環境を構築することになりました。信州大学は新制大学発足時から、有為な人材を輩出し、戦後復興に貢献し、我々の社会を支えてきたことは高く評価されていることと思います。高度経済成長、工業技術開発などに驚くべき成果がありました。最近では、その歪も見え始め、情報化社会でのセキュリティ、少子高齢化、環境、エネルギー、世界の民族紛争問題等、難問山積の時代を迎えています。かかる時代を迎え、単に知識を与える教育ではなく、視野の広い人間性豊かな人材の育成、技術の根幹にかかわる学術研究の重要性が高まり、大学への期待が大きくなっています。このような期待にたいして、国立大学として責務を果たせるように、大学の教育環境整備に可能な限り支援できればと考えています。同窓生のみならず、社会の皆様からのご協力・ご支援をいただきたく願う次第です。



信州大学工学部同窓会
会長 宮入 圭一

目標金額 ①工学部70周年記念事業 400万円 寄附金募集期間 2019年7月～
②福利厚生施設の改修 2,000万円 2021年3月31日

寄附金額 個人の場合 1口 5千円 (1口以上何口でも結構です)
法人の場合 1口の金額は特に定めはありません

寄附金の税制上の優遇措置について

信州大学への寄附金については、寄附金の控除(税制上の優遇措置)が受けられます。個人の方は所得控除ができ、企業等の皆様からのご寄附は、寄附金の全額が損金に算入できます。

お名前を掲出させていただきます。

ご寄附いただいた方のお名前は、周年記念事業ホームページなどに掲載させていただきます。(掲載などを希望されない場合は、振込用紙の「掲載不可」欄にチェックをお入れください)

2口 1万円以上ご寄附いただいた方には工学部創立70周年記念誌を無料で贈呈いたします。

こちらの指定用紙をご利用ください

振込用紙に募金額・住所・氏名を記入し、青の破線のみを切り取って、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口からお振込ください。(赤の破線は切らないでください)
(この用紙を用いて、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口からお振込いただく場合は、手数料は不要です)



右の払込票(の赤破線)は切り離さずに
ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にお出しください。

02 長野		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号						金額							
0	0	5	4	0	1	千	百	十	万	千	百	十	円
005401						87512							
加入者名						信大工学部創立70周年事業				備考			
※ご依頼人・通信欄						信大工学部創立70周年事業募金申込書				備考			
住所						(〒)				備考			
氏名										備考			
関係										備考			
芳名										備考			
この振込用紙は使用できません。 専用「払込取扱票」の郵送を希望する場合はお送りします。 お手数おかけいたしますが、 下記へ送付先住所・送付先氏名をお知らせください。 engineering70th@shinshu-u.ac.jp													
ご依頼人欄に、おとことおなまえをご記入ください。(承認番号長第31009号)						印							
これより下部には何も記入しないでください。													

振替払込請求書兼受領証											
口座記号番号										通常払込 料金加入 者負担	
0	0	5	4	0	1						
005401										87512	
加入者名											
信大工学部 創立70周年事業											
金額											
千 百 十 万 千 百 十 円											
備考											

この受領証は、大切に保管してください。



信州大学工学部 創立70周年記念事業



以下の各事業を行うための資金として、ご寄附を募集いたします。
なお、②福利厚生施設の改修については、目標額に達した時点で各事業を行う予定です。

①工学部70周年記念事業

事業予定

- ・工学部70周年記念式典
- ・工学部70周年記念誌発行
- ・工学部LED屋外表示板の設置

②福利厚生施設の改修

事業予定

- ・若里寮の改修補助
- ・学生食堂の改修補助

福利厚生施設の改修等の費用は国からの資金拠出が難しいため、自助努力で行うしかないのが現状です。

信州大学工学部 創立70周年記念式典のご案内

2019年9月27日(金) 13:00~17:00

信州大学国際科学イノベーションセンター(AICS) 2階セミナースペース
記念講演(井原廣一氏、野村達雄氏)、学生の企画・運営によるワークショップなど開催



信州大学工学部創立70周年記念事業実行委員会 寄附担当窓口
〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 TEL.026-269-5217
メールアドレス: engineering70th@shinshu-u.ac.jp

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。